

放送倫理・番組向上機構[BPO]
2015(平成27)年度 第1回理事会 議事録

1. 日 時 2015年5月22日(金) 午後2時～3時10分
2. 場 所 放送倫理・番組向上機構[BPO] 第1会議室
3. 出席者 濱田 理事長
三好 専務理事 高橋 理事・事務局長
藤久 理事 山野 理事
板野 理事 行成 理事
河内 理事 木村 理事
.....
新井 監事 山内 監事

4. 議 題

- (1) 2014年度 業務報告・決算報告
- (2) 会計処理規程の一部改正について
- (3) 評議員の選任について
- (4) 外部理事の補充について
- (5) その他

5. 配付資料

- (1) 2014年度 BPO年次報告<概況>
- (2) 2014年度 決算報告書
- (3) 2014年度 BPO収支計算書の概要
- (4) 「会計処理規程」の一部改正(案)
- (5) 2015年度 BPO収支予算書 ~【資金ベース】から【正味財産ベース】へ置換概要
- (6) 2015年度 BPO収支予算書【正味財産】
- (7) BPO評議員会・評議員の候補者(案)
- (8) BPO理事会・外部理事の候補者

6. 議 事

議事に先立ち、高橋理事・事務局長から、理事全員が出席し、理事会は有効に成立する旨を報告。次いで、濱田理事長(議長)から就任挨拶があった後、5月13日付でBPO理事に就任した板野裕爾氏(NHK専務理事、森永理事と交代)と行成卓巳氏(NHK考査室長、近藤理事と交代)の2氏と、昨年7月に理事に就任し、前回理事会を欠席された河内一友理事(民放連・放送基準審議会議長、毎日放送社長)を紹介し、議事に入った。

(1) 2014年度 業務報告・決算報告

<業務報告>

高橋理事・事務局長から、2014(平成26)年度のBPO活動について概要、以下の報告があり、全会一致で了承された。

- 2014年度は、引き続き三つの第三者委員会の活動を中心に業務を推進した。BPO活動の周知徹底を目指した委員会と放送局との「意見交換会」を一層、充実させた。
- 意見交換会は3委員会を合わせて10回実施。開催地は、札幌、仙台、名古屋、大

- 阪、四国、福岡、甲府、沖縄、東京(2回)で、系列に属さない独立局との初めての意見交換会を東京で実施し、関東・東海・近畿の13局が参加した。
- 放送倫理検証委員会は、3事案に「委員会決定」(意見・見解)を通知・公表した。
 - ・フジテレビ『ほこ×たて』『ラジコンカー対決』に関する意見
(2014年4月1日 通知・公表、前年度審議事案)
 - ・テレビ朝日『報道ステーション』『川内原発報道』に関する意見
(2015年2月9日 通知・公表)
 - ・“全聾の天才作曲家”5局7番組に関する見解
(2015年3月6日 通知・公表)
 - 放送人権委員会は、1事案に「委員会決定」を通知・公表したほか、「委員長談話」1件を公表。また、1事案について審理し、2015年度に入ってから通知・公表した。
 - ・「顔なしインタビュー等についての要望～最近の委員会決定をふまえての委員長談話～」
(2014年6月9日 公表)
 - ・「散骨場計画報道への申立て」(静岡放送) 見解:放送倫理上問題あり
(2015年1月16日 通知・公表)
 - ・「大阪府議からの申立て」(TBSラジオ) 見解:問題なし
(2015年4月14日 2014年度の委員名で通知・公表)
 - 青少年委員会は、「委員会の考え」1件と、「委員長コメント」2件を公表した。
 - ・日本テレビ『絶対笑ってはいけない地球防衛軍24時!』に関する「委員会の考え」
(2014年4月4日 公表)
 - ・“子どもが主人公のドラマ”に関する「委員長コメント」
(2014年4月8日 公表)
 - ・“深夜帯番組の性的表現”に関する「委員長コメント」～深夜の音楽バラエティー番組の討論をふまえて～
(2015年1月8日 公表)
 - BPOが1年度間に受け付けた「視聴者意見」の総数は約16,000件。近年はメールでの意見が全体の7割超を占めているが、実際に番組を見ないで、ネット上の記事をコピーして送ってくるケースが増えている。
 - 理事会は3回開催し、決算や予算を承認したほか、評議員1名を選任した。また、評議員会は2015年度からの3委員会新委員9名を選任した。
 - 委員と各放送局の担当者が委員会の判断などを題材に直接、意見を交わす「事例研究会」を7月に、3委員長が1年間の活動を総括する「年次報告会」を2015年3月に、それぞれ開催した。
 - BPOの活動を広く理解してもらうため、記者会見の内容を「ニュースリリース」でネット配信したほか、「メールマガジン」を逐次配信して、各放送局の担当者へ委員会の動向を詳細・迅速に伝えた。年度末現在のメルマガ登録者は4,000人余。
 - 2011年度にスタートさせた、3委員会の委員や役員・調査役を各放送局が実施する研修会や勉強会に派遣する「講師派遣」を19件、実施した。
 - 人権委員会が4年前に刊行した判断ガイドを改訂し、これまでの「委員会決定」の

留意点などをまとめ、判例等も掲載した『放送人権委員会 判断ガイド2014』を刊行。4,000部作成し構成員各社に配付したほか、研究者や図書館などにも配布した。

< 決算報告 >

三好専務理事から、2014(平成26)年度決算について概要、以下の提案・報告をした。

〔注：金額は万円未満を切り捨て〕

- 2014年度の事業活動収支は、収入が会費収入などで4億607万円、支出が事業費3億101万円と管理費1億27万円を合わせた4億128万円で、事業活動収支差額は479万円のプラスとなった。このほかに、投資活動収支で、退職給付引当資産の取り崩し、退職給付引当資産の積立等により、投資活動収支差額が615万円のマイナスとなり、当期収支差額はマイナス135万円となった。これにより、2014年度末の資金総額は3,889万円となった。なお、2014年度の当期収支差額のマイナス135万円は、緊急対策引当資産の取崩収入を除いた2013年度の実質的な金額と比較すると約3,000万円、収支を改善している。
- 事業活動支出の4億128万円は、予算を2,583万円下回ったが、予算との差異が大きかった科目と主な要因は次のとおり。
 - ・放送人権委員会支出は、決定事案数が少なかったことなどにより552万円、予算を下回った。
 - ・放送倫理検証委員会支出は334万円、予算を下回った。
 - ・青少年委員会支出は、「中高生の生活とテレビに関する調査」の報告会を年次報告会に合わせて開催するなど経費節減を図り743万円、予算を下回った。
 - ・広報関係経費支出は、BPO-PRスポットの放送使用延長費用の負担が少なかったことなどにより409万円、予算を下回った。
 - ・委員会共通費支出は、『BPO報告』作成費の発行部数を減らしたことや、紙質を下げるなどの節減策などにより326万円、予算を下回った。
 - ・管理費支出は163万円、予算を下回った。
- 2014年度末の資産総額は1億3,752万円、負債総額は9,437万円で、正味財産額は4,314万円である。これは、前年比379万円の減少となった。

続いて山内監事から、「5月13日にBPO事務局内において、新井監事とともに2014年度業務と決算の概要の説明を受けた後、会計上の帳簿等を監査した結果、役員の職務執行状況ならびに会計処理は適正であることを確認した」との報告があった。

次いで若干の質疑応答があり、2014年度決算報告は全会一致で了承・承認された。

(2) 会計処理規程の改正について

三好専務理事から、2月の理事会で承認された収支予算書を資金ベースから正味財産ベースへ変更することに必要な会計処理規程の一部改正について、資料に基づき以下の説明・提案をした。

- 資金ベースの収支予算書を作成することとしている第16条の2項の「資金」の文言を「正味財産」へ変更する。
- この変更により、資金ベースの収支予算書と収支計算書に関連する各条文を削除する。
- 資金ベースの収支予算書と収支計算書に関連する各条文を変更する。
- 付則の「規程の適用日」を「平成27年4月1日」からとする。

続いて事務局から、資金ベースの収支予算書を正味財産ベースへ置き換えた概要を説明した後、会計処理規程の改正について原案どおり全会一致で承認された。

(3) BPO評議員会 評議員の選任について

三好専務理事から以下を提案。評議員候補者に関して若干の質疑応答があった後、全会一致で承認された。

- 評議員会は、「理事会が有識者(放送事業者の役職員を除く)の中から選任し委嘱する評議員7名以内で構成する」と規定されている。
- 三浦朱門氏(作家)が昨年度末で評議員を退任されたことから、次期評議員候補者案を提案する。

(4) BPO外部理事の補充について

三好専務理事から、濱田理事が理事長に就任されたことに伴う外部理事の補充に関して、「外部理事3名は理事長が選任する規定になっており、新理事長に相談した結果、理事長から、坂井修一氏(情報工学者、東京大学情報理工学系研究科教授、歌人)が推挙された」と報告し、了承された。

(5) その他

三好専務理事から、BPO・3委員会での審理・審議状況や、BPO全体の動向・課題について報告。特に最近の傾向として、メールによる視聴者意見の中には、ネットで炎上した番組について、自身が番組を見ないまま、いわゆる“コピペ”で送ってくるケースが増えていること、また、一つの番組を複数の委員会で取り上げる場合は、BPO規約で「3委員会において同一の放送番組を取り扱う場合、互いに連携して、必要な措置を講ずる」としているが、こうしたケースが進行しつつあることから近々、「理事長と3委員長との懇談会」を開催し、情報共有・調整を図ることとしていることなどを説明した後、報告・説明を了承した。

以上の報告の後、BPOの活動等について若干の意見交換が行われ、議事を終了、閉会した。

以上